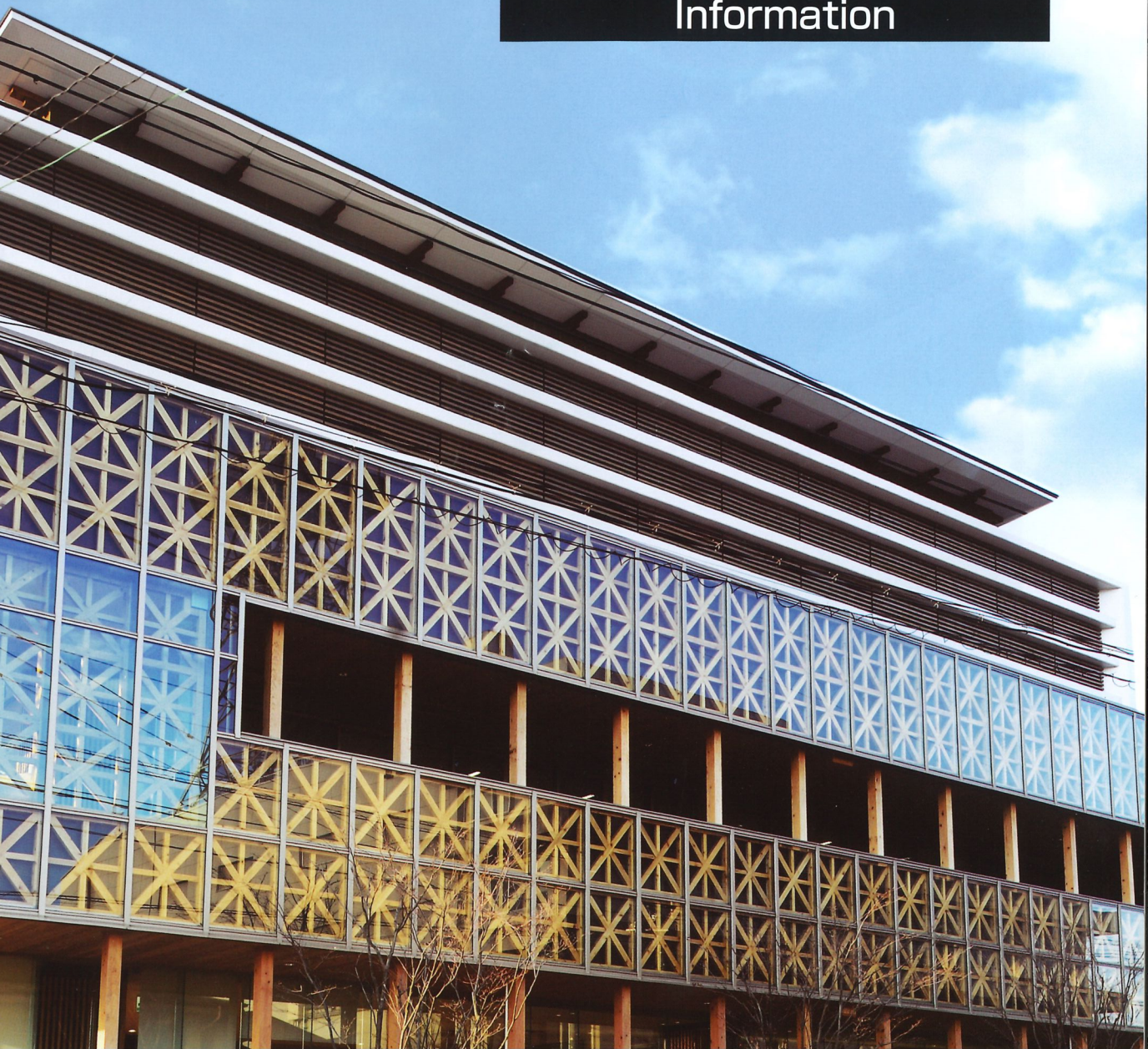


小林市 新庁舎

Kobayashi City New Government Building

Information



市民・防災・産業・まちづくりの拠点 木の香あふれる新庁舎



建物概要

1 全体概要

名称 小林市役所本庁舎（本館・東館）

所在地 宮崎県小林市細野 300 番地

敷地面積 10,228㎡

延床面積 7,004㎡

(1) 本庁舎本館（行政棟）概要

構造：SRC造＋S造（鉄骨鉄筋コンクリート造）

階層：地上4階 耐震構造

延床面積：5,010㎡

(2) 本庁舎東館（議会棟）概要

構造：木造

階層：地上3階 耐震構造

延床面積：1,994㎡

2 工期

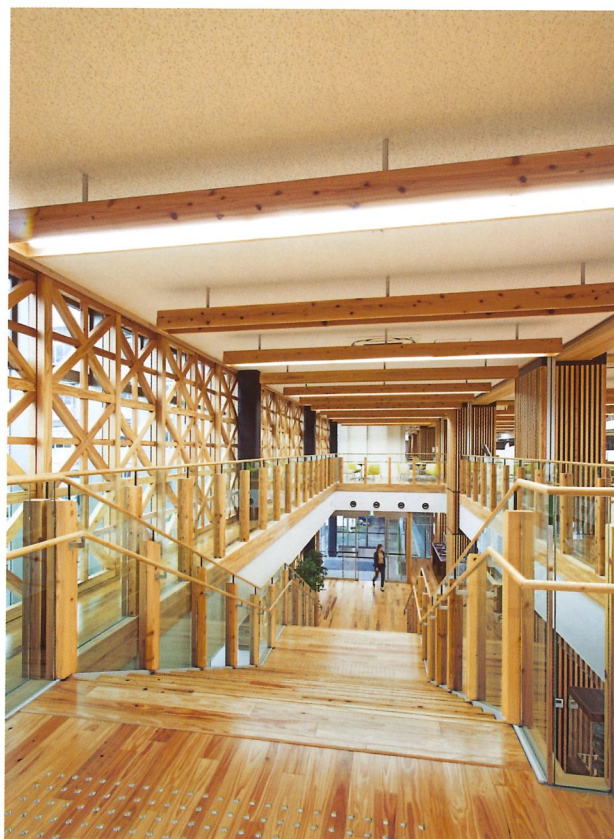
本体工事：平成28年3月～平成29年6月

旧庁舎解体・外構工事：平成29年9月～

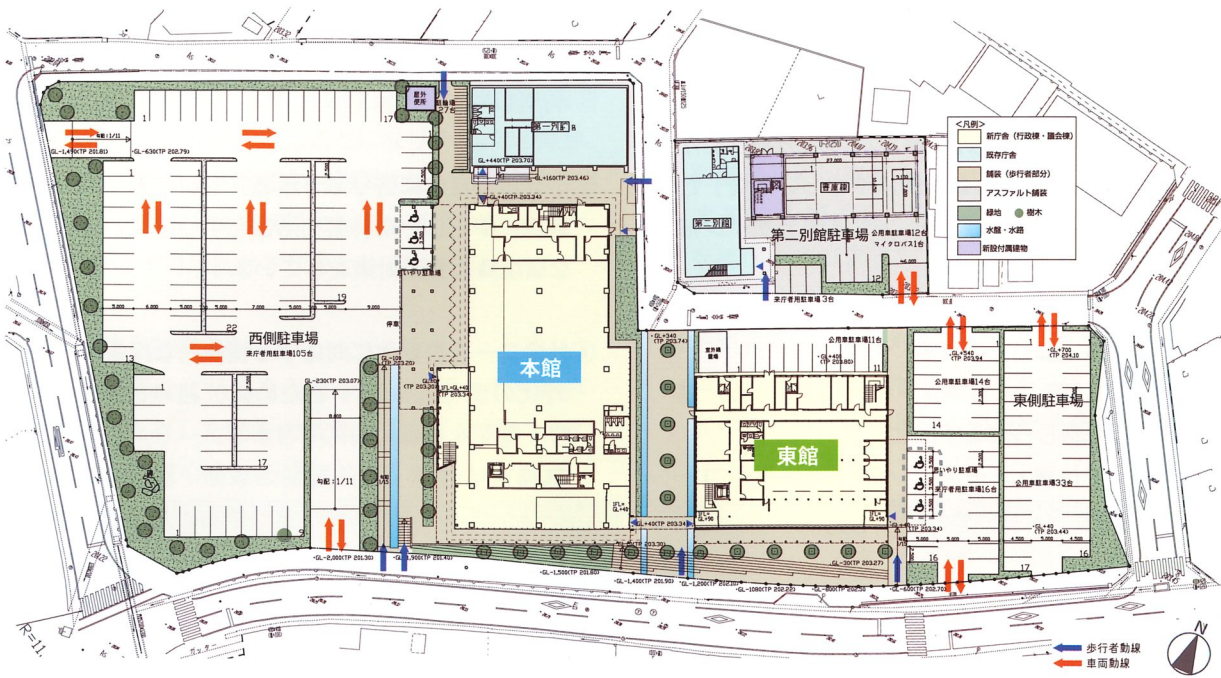
平成30年3月

総事業費：35億5千万円（設計、解体、外構工事含む）

（うち、庁舎工事費：28億4千万円）



配置図



外観



本館南面（正面玄関）



東館東面



本館東面



東館北面

新庁舎のコンセプト

1 市民に開かれた、誰もが使いやすい庁舎

誰もが使いやすい市庁舎機能を市民の利便性を追求するとともに、市民の「憩い」「交流」「発信」などまちづくりの拠点としても、市民が集まり活気あふれる庁舎としています。また、「人と環境にやさしい庁舎」として、最新のユニバーサルデザインや環境デザイン技術を採用しています。

①市民が集う「もてなし」の庁舎

- ・市産木材を用いて、木の質感・香りを感じる、温かみと郷土色を感じられる空間としています。
- ・待合ラウンジや休憩・ミーティング・情報・展示コーナー等、市民が気軽に立ち寄れるコミュニティスペースを各所に設置しています。

②すべての人にやさしいユニバーサルデザイン庁舎

- ・初めての来庁者やすべての利用者にやさしいユニバーサルデザイン庁舎です。

- ・授乳室やキッズコーナーを設置し、子育て世代も利用しやすい庁舎です。

③小林市の自然に寄り添う環境共生型庁舎

- ・環境にやさしい森林業を活性化する庁舎として、様々な環境負荷軽減対策をしています。

④社会ニーズの変化に対応する機能的な庁舎

- ・時代の変化に対応するために、組織改編やレイアウト変更を柔軟に対応できます。
- ・執務室は設備・通信機器の改修・更新がしやすいフリーアクセスフロアを採用し、用途やセキュリティレベルに応じた必要スペックを設定しています。



市民利用多目的スペース



コミュニティラウンジ



オープンプローア



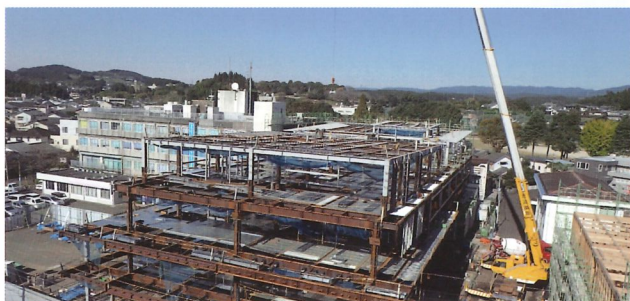
総合案内

2 市民を守る防災拠点としての庁舎

庁舎は、大規模災害の発生時には災害対策本部として救助や復旧等に向けた指揮、情報の収集・伝達等防災活動の中核としての機能を担うこととなります。そのため、高度な耐震構造を採用するなど耐震性能、防火性能を備え、防災・災害復旧拠点施設として、市民の安全・安心を守る役割を十分果たせる庁舎としています。

① 3階に防災対策室を設置

- ・災害時に即時に情報を収集し対策を講じるための各種機能を有した防災対策室を新たに設置し、市民の安全・安心を守る庁舎としています。



SRC造本館（行政棟）

② 耐震性の高い構造

- ・災害時に市民の安全と行政機能を守るため、本館（行政棟）はSRC造の耐震、東館（議会棟）は木造の耐震としています。

本館はⅠ類1.5、東館はⅡ類1.25の耐震安全性を確保しています。

③ 自家発電 72時間対応

- ・エネルギーや給排水設備等の備えは、自然エネルギーとの複合により3日以上機能継続が可能です。



東館（議会棟）市オリジナル耐力壁

3 開かれた議会活動を推進する庁舎

議会活動は、今後、これまで以上に政策形成の場として重要となります。市民に開かれ、円滑にその活動が実施できるように、さまざまな機能を有した構造としています。

① 全木造3階建ての構造

- ・議会は、地元産木材をふんだんに使い、最先端の建築技術を駆使した全国的にもめずらしい全木造3階建ての東館の中にあります。木材がもつ柔らかみと外光を取り入れた開放感のある設計とも相まって、「開かれた議会」を演出しています。



議場（円形・張弦梁）

② 円形の議場

- ・議員同士の顔がよく見えることで議論のさらなる活性化をめざし、円形構造の議場としています。

③ 同一フロアへの傍聴席の設置

- ・議場と傍聴席は同一フロアに位置し、一体感を持たせています。

④ 議会中継システムの充実

- ・各種設備も併せて刷新し、議会中継システムの充実も図りました。特に、音響システムには観やすく、聞きやすい「赤外線会議システム」を採用しています。



議場と一体の傍聴席

4 産業の活性化に繋がる庁舎

市の産業活性化につながり、小林市から全国へメッセージを発信していく次世代の庁舎をめざします。

①市民が誇りを感じる庁舎

・市民参加やまちづくりの拠点として、新庁舎建設市民懇話会を中心に建設段階から継続して、市民の意見を重視した庁舎づくりを行いました。そうすることで、市民にとって魅力的で誇りに感じる庁舎としています。

②地元企業と共につくる庁舎

・建設から多くの地元企業が携わり、メンテナンスも地元で行いやすい体制としています。

③新木造庁舎の実現によるブランド化

・市の木材を他の都市でも利用してもらうためのPR拠点となるようなデザインや、オリジナルの構造を採用しています。

④庁舎への市産木材の活用

- ・市有林の「木」をアピールする庁舎として、また、長く市民に愛される小林市の新たな顔としての庁舎を創出しています。さらに、SRC造の本館（行政棟）は、木質化により木のイメージを持たせ、木造である東館（議会棟）と調和し、木の香りあふれる庁舎です。
- ★特徴1：全国的にもあまり事例のない木造3階建て（東館）
- ★特徴2：市有林のふんだんな活用（スギ・ヒノキ）
 - ・使用本数 8,080本・伐採数量 1,920m³・構造材量 365m³
 - ・内装材量 320m³（床、格子建具、照明ボックス、家具等）
- ★特徴3：小林市オリジナル木の耐力壁の採用
木造の東館（議会棟）には、地産木材による耐力壁を採用しています。これは、建物の耐震度を高めつつ内部の間仕切り壁の自由度を高めるために、外周部に耐力壁を使用するものです。これは、宮崎県木材利用技術センターや木構造専門家との共同による小林市のオリジナルのものです。



市有林スギ・ヒノキとも60年から80年生を選定



市有林の確認調査の実施



内装材の保管



耐力壁の試験実施



東館（議会棟）の木組建て状況



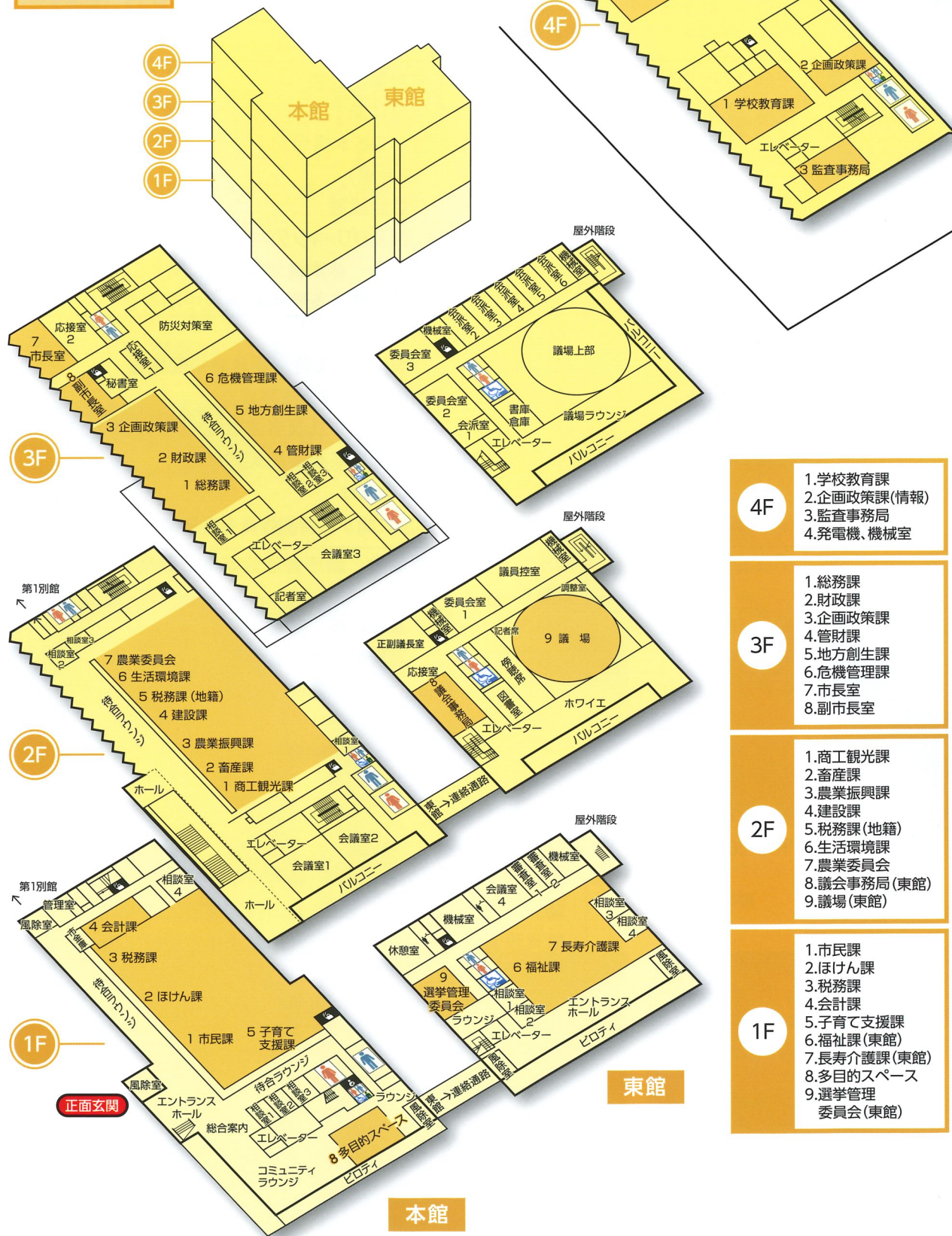
東館耐力壁の組立状況

新庁舎建築の経緯

年度	時期	内容
平成 17 年度	平成 18 年 3 月 20 日	小林市・須木村合併
平成 21 年度	平成 22 年 3 月 23 日	小林市・野尻町合併
平成 22 年度	平成 23 年 3 月	市有地等利活用基本方針策定委員会設置 ・新庁舎建設基本構想案取りまとめ
平成 23 年度	平成 23 年 6 月 平成 23 年 6 月 平成 23 年 8 月～10 月 平成 23 年 8 月 平成 23 年 11 月 平成 23 年 12 月 平成 23 年 12 月	新庁舎建設基本構想案 公表 小林市議会庁舎建設に関する特別委員会設置 まちづくり座談会において基本構想案の説明、アンケート実施（市内各小学校区単位 13 会場） 新庁舎建設市民懇話会設置 新庁舎建設推進本部及びワーキンググループ設置 新庁舎建設市民懇話会 基本構想案検討に関する市長報告 小林市議会庁舎建設に関する特別委員会中間報告
平成 24 年度	平成 24 年 5 月 平成 24 年 6 月 平成 24 年 6 月 20 日 平成 24 年 11 月 平成 24 年 12 月 平成 25 年 3 月	新庁舎建設基本構想 策定 小林市議会庁舎建設に関する特別委員会中間報告 合併特例債活用期限を延長する法案成立 新庁舎建設基本計画策定委託業者選定(公募型プロポーザル) 新庁舎建設基本計画策定業務委託契約締結 ・梓設計株式会社九州支社 小林市議会庁舎建設に関する特別委員会最終報告
平成 25 年度	平成 25 年 5 月 平成 25 年 7 月 平成 26 年 1 月	新庁舎建設市民懇話会 新庁舎建設基本計画案検討に関する市長報告 小林市新庁舎建設基本計画 策定 小林市新庁舎設計業務選定委員会設置
平成 26 年度	平成 26 年 4 月 平成 27 年 3 月 平成 27 年 3 月	公募型プロポーザル方式により基本・実施設計業者決定 ・梓設計株式会社九州支社 新庁舎建設市民懇話会 新庁舎建設基本設計検討に関する市長報告 新庁舎基本設計完了
平成 27 年度	平成 27 年 11 月 平成 28 年 3 月	新庁舎実施設計完了 新庁舎工事請負契約締結 ・行政棟建築主体工事 坂下・緒方特定建設工事 共同企業体 ・議会棟建築主体工事 坂口・丸山特定建設工事 共同企業体 ・電気設備工事 九南・九州電通特定建設工事共同企業体 ・空調設備工事 九電工・中尾特定建設工事共同企業体 ・給排水衛生設備工事 (株)九電工小林営業所
平成 28 年度	平成 28 年 4 月	新庁舎建設工事起工
平成 29 年度	平成 29 年 6 月 平成 29 年 7 月 平成 29 年 8 月 14 日 平成 29 年 12 月 平成 30 年 3 月 平成 30 年 3 月	新庁舎建設工事竣工 新庁舎市民向け内覧会 新庁舎開庁及び旧庁舎閉庁式 旧庁舎解体工事竣工 新庁舎外構工事竣工 新庁舎グランドオープン (平成 30 年 3 月 24 日新庁舎落成記念式典)

市役所フロア図 (H30. 4. 1～)

本庁舎



- 4F
1. 学校教育課
 2. 企画政策課(情報)
 3. 監査事務局
 4. 発電機、機械室

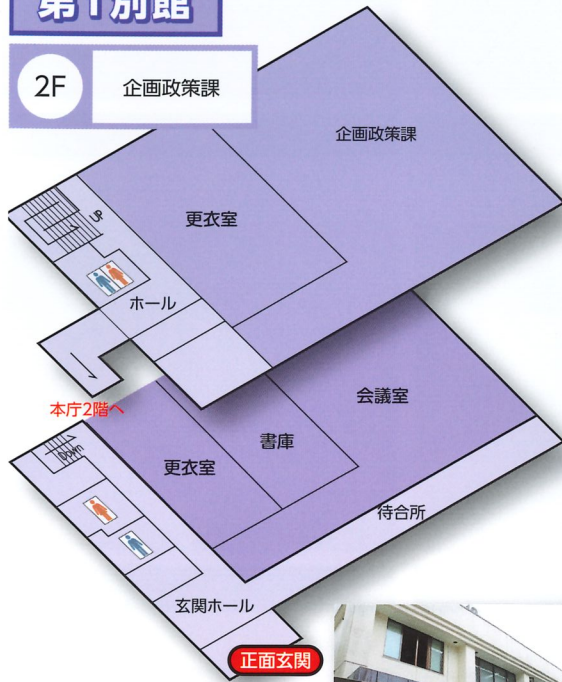
- 3F
1. 総務課
 2. 財政課
 3. 企画政策課
 4. 管財課
 5. 地方創生課
 6. 危機管理課
 7. 市長室
 8. 副市長室

- 2F
1. 商工観光課
 2. 畜産課
 3. 農業振興課
 4. 建設課
 5. 税務課(地籍)
 6. 生活環境課
 7. 農業委員会
 8. 議会事務局(東館)
 9. 議場(東館)

- 1F
1. 市民課
 2. ほけん課
 3. 税務課
 4. 会計課
 5. 子育て支援課
 6. 福祉課(東館)
 7. 長寿介護課(東館)
 8. 多目的スペース
 9. 選挙管理委員会(東館)

第1別館

2F 企画政策課

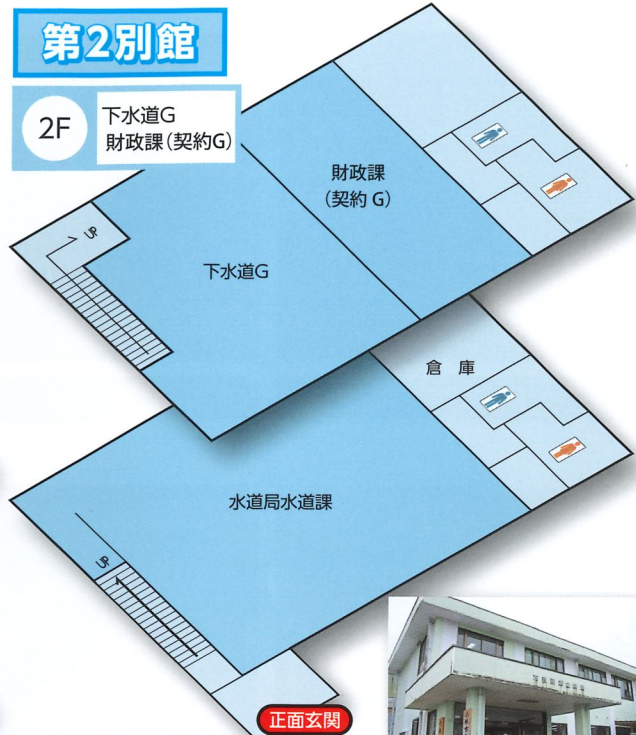


1F 書庫・会議室



第2別館

2F 下水道G
財政課(契約G)



1F 水道局水道課



新別館

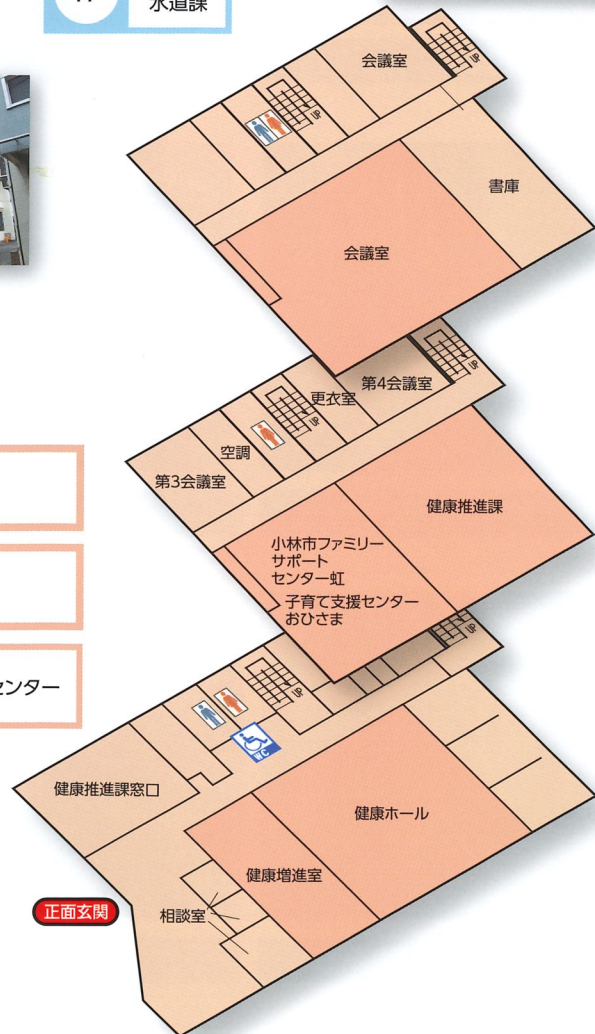
(中央保育所横-九電跡地)



3F 会議室

2F 健康推進課

1F 小林市保健センター



ギャラリー



正面玄関



正面玄関エントランス



総合案内



市民窓口



子どもスペース



ラウンジ



みんなのトイレ



防災対策室



待合ラウンジ



本館と東館をつなぐ廊下



会議室



応接室



市長室



副市長室



正副議長室



議場演壇・議長席



議場市長席



太陽光発電パネル



本館と東館をつなぐ連結部



思いやり駐車場



せせらぎ水路スペース



1階ポーチ

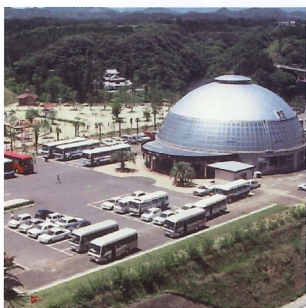


木製受水槽



新庁舎夜の様子

みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかところ 小林市



本庁舎・別館及び周辺地図



小林市役所

〒886-8501 宮崎県小林市細野 300 番地

TEL : 0984-23-1111 (代) FAX : 0984-25-1037 (企画政策課)

URL <http://www.city.kobayashi.miyazaki.jp>

